

# 『歴史地理教育』バックナンバー

御注文は、一般社団法人歴史教育者協議会事務局まで、FAXかメールでお願いします(送料は別途、代金は後払い)。在庫品に限りがありますので、品切れの場合は、ご容赦下さい。

●語り継ぐ戦争の記憶に関連した特集号(在庫品)と主な内容

三八五号(一九八五年八月)

五〇〇円(在庫3冊)

特集 敗戦四〇年―語りつぐそれぞれの戦後史

戦争のおわらせ方と戦後史の課題 荒井信一／戦時下の教育体験を問う―戦後の私のおゆみ 板倉三重／女の生き方と戦争 平井和子／実践(高校) ヒロシマの父母の歴史と私たち 沢野重男 他／実践(高校) 沖繩戦から四〇年 吉浜忍／実践(中学校) 中国帰国孤児二世との交流 佐久間治夫／実践(小学校) 主権者に育てる戦後史学習 山近頼 他

五〇八号(一九九三年一〇月) 本体五八三元十税(在庫3冊)

特集 戦争と青春―学徒出陣五〇年

日本の教育と「学徒出陣」 松島榮一／戦列の末端に加わって―学徒出陣記 蛭川寿恵／ゲートルもまかず銃も持たず 川寄兼孝／瑣末なことの意味―戦没学生の遺書を読む 平野英雄／少年は馬のいななきを忘れない 根岸泉／「土科連」の記 東幸一郎／女子勤労挺身隊研究の現状と課題 滝沢民夫

五二三号(一九九四年一〇月) 本体六四一元十税(在庫8冊)

特集 戦争と子ども―学童疎開五〇年

学童疎開の本質は何か―本土決戦体制下の「皇国民錬成」教育政策 伊ヶ崎暁生／部活動における学童集団疎開調査 一条三子／セピア色の風景―疎開の思想 石井雅大／実践(小六) 学童疎開 浦沢朱実／集団疎開の児童を引率して 上川淳／聞き書きⅡ学童集団疎開のいきさつ 金子喜一郎(聞き手・金子真)／学童疎開体験記Ⅱ灰色の日々をすごして 佐藤純子 他

六五七号(二〇〇三年八月) 本体六四八円十税(在庫12冊)

特集 どう伝える 戦争の記憶

インタビューⅡ元特攻隊員の語る戦争体験 信太正道(聞き手) 石出法太・村松邦崇／実践(高校) 元七三一部隊員に聞く―戦争体験の聞き取り 野口政和／戦争遺跡保存運動と戦争の記憶 大日方悦夫／戦争の記憶をめぐる争い―前進のための批判検討 菊地宏義／実践(小六・韓国) ごめんなさい、ベトナム 金永文

七四八号(二〇〇九年八月) 本体六四八円十税(在庫15冊)

特集 戦場の実相―兵士の死と生

なぜ、いま、「戦場」を問題にするのか 吉田裕／兵士の「戦場体験」がもたらすもの―当事者性の発見 今野日出晴／傷痕軍人と「しょうけい館」 東海林次男／戦場体験と歴史教育―歴教協の研究・実践を中心に 古谷博／近藤一さんに学ぶ―二つの戦場での加害体験証言 宮城道良

七七八号(二〇一一年八月) 本体六四八円十税(在庫21冊)

特集 満州国とは何だったのか

満州事変と「満州国」の実態―「五族協和」と治安維持 山田朗／「満蒙開拓青少年義勇軍と信濃教育会」を問い直す 唐木達雄／中国からみた満州事変―対話の糸口を探すために 齋藤一晴／実践(中学歴史) どうする? 満州事変の授業 倉持重男／水戸市内原郷土主義勇軍資料館 東海林次男